

# ひらつか

「わー、すごい」「もう1回やって」  
新聞紙の紙吹雪に歓声を上げる子どもたち。  
子育てサークル「星の子サークル」の活動日、青少年会館の柔道場に、はじけるような笑い声が響きます。前号に続き今号でも、楽しい子育てを応援する集いの場所や事業などを紹介します。

## 親子を 笑顔に



子育て  
するなら  
平塚で  
下

目次

1~3面…**特集** 親も子ども笑顔で育つこのまちで…親子が集まる場所や楽しめる教室など、未就学児を対象とした市内の取り組みを紹介します。  
4~7面…募集・お知らせ・健康と福祉「はじめよう！生きがいと健康づくり」  
8面…ヒラツカルチャー「MOTTO図書館」

平塚市の人口と世帯数  
<平成29年12月1日現在( )内は前月比>  
人 口 258,391人…(-50)  
世 帯 数 110,071世帯…(+62)





「子どもと一緒にいろいろな経験ができます」と話す小林さん(中央奥)

と親子を見送りながらほほ笑みます。同サークルや市内の子育てサークルなどの詳しい情報は、本館1階の保育課や公民館などにある冊子「子育て応援団体」(下写真)に載っています。



「企画を練ったり会員を募集したり、自分たちで全てを行うので、苦労はあります。でも、みんなの楽しんでいる姿を見ると吹き飛んでしまいます。何より、達成感があります。これからも続けていきたいですね」

「子どもだけでなく、お母さんも友達の輪が広がりますよ」と笑顔を見せる小林史子さん。市内の母親が作った子育てサークル「星の子サークル」の代表を務めています。20年以上続く同サークルは、1歳半〜4歳の未就学児とその保護者を会員に、月3回、木曜日の午前10時〜正午に、青少年会館で活動しています。「工作をしたり、絵本の読み聞かせをしたり、当番になった会員が、みんなで楽しめるようなプログラムを考えます」と話す小林さん。夏まつりやクリスマス会などの季節ごとのイベントや、公園遊びや水遊びなどの野外活動も企画します。

## ママが作った ママのためのサークル

# 親も子ども笑顔で育つ このまちで

妊娠・出産を経て迎えた、待望のわが子。小学校入学前の時期を笑顔で過ごせるように、市内でさまざまな取り組みが広がっています。親子で楽しい時間を過ごしたい時や子育てに悩んだ時に、利用してください。

## 自分で考え自由にアート

「自分で考えて、自由に組み立てる時間を持ててよかったです」と話す小幡貴子さん。2歳の洋翔君と一緒に、美術館のワークショップ「キッズアート」に参加しています。

美術館では、子どもたちが感性豊かに成長するように、そして、美術館を親子で訪れるきっかけになるように、未就学児向けのプログラムを開いています。キッズアートのようなワークショップや、実際に展示室で作品を鑑賞するツアーなど、内容はさまざま。「子どもを連れて美術館に行ってもいいのだろうか？」とためらいがちな未就学児のいる家庭に、美術館をもっと身近に感じてもらう機会をつくっています。

「自宅では絵の具やサインペンを持たせる機会は、ほとんどないです」と話す貴子さんの横で、洋翔君は画用紙からはみ出しそうなくらい思い切り絵の具を塗っています。「私も夫も普段は、厳しく、叱るような教育をしてしまっているかもしれませんが、子どもが自分の考えを出しにくくなってしまったのでは、と反省しました」。ワークショップを楽しむ洋翔君を見守りながら「参加してよかったです。のびのびと育ってほしいですね」と貴子さんは目を細めます。

問 美術館 ☎35-2111



「一緒に作品を作れてうれしいです」と話す小幡貴子さん(右)と洋翔君

## アートもスポーツも 楽しめるのが平塚スタイル

心も体も健やかに育つように、親子で楽しめる文化・スポーツ分野の教室を開いています。

## スポーツで絆も深まる



「難しいけど、楽しい」と話す藤間綾斗君(手前)と母の正美さん

『大きな声でおい』スピーカーから曲が流れると、「おい！」と明るい声が室内にこだまします。トッケイセキュリティ平塚総合体育館で開かれた、親子エアロビクスの会場には、冬の寒さを吹き飛ばすような元気いっばいの子どもたちの姿がありました。

まちづくり財団では、親子で参加できるエアロビクス教室を年3回開いています。親子のスキンシップを目的としている同教室。1時間のレッスン中にさまざまな曲に合わせて体を動かし、遊びの要素を取り入れながら筋力トレーニングができます。全ての曲に、手をつないだり、体を支えたりと、お互いの体に触れる動きが組み込まれているのが特徴です。

幼稚園に通う藤間綾斗君と参加した母親の正美さんは、「この子が幼稚園に通い始めて、一緒に体を動かす機会が減ったと思っていました。そんな時にこの教室を知って、お友達を誘って参加しました」ときっかけを話します。「男の子なので、成長するにつれて自分から離れることが多くなったと感じていました」と言う正美さんですが、会場では綾斗君が正美さんを呼ぶ「お母さん」という声が何度も聞こえました。「親子で密に過ごす時間を持ててよかったです。触れ合う機会を、これからも大切にしたいですね」と笑顔を見せます。

問 まちづくり財団スポーツ事業課 ☎35-0102

## 0歳からの安心保育

☎ 保育課 ☎21-9612

「たまご組の子どもたちは、保育園のアイドルなんです。みんなにかわいがられています」と笑顔を見せる清水真里子先生。市立しらさぎ保育園(東中原2-14-2)で、0歳児クラスのたまご組の担任をしています。

安心して  
保育所に  
預けたい

### 保護者と顔を合わせて信頼関係を築く

「子どもの成長や離乳食の時期などについて、相談を受けることもあります」と清水先生は話します。日中の様子や体調を知らせる赤ちゃんノートという連絡帳を作り、保育園と家庭をつないでいますが、清水先生は「保護者と顔を合わせて話す機会を、一番大切にしています」と強調します。「保護者と話すときには、伝え方や言葉の選び方に注意しています。相談を受けたときには、正しい意図で伝えるにはどうしたらいいのか、悩むこともあります。職員間で連携をとり、多くの意見を聞くように心掛けています」。

現在89人の園児が通う同園。「以前に比べ、産後すぐに職場に復帰して保育園を利用する人が減っていると感じます。育児休暇を取得できる制度や周囲の理解が進んでいるのではないのでしょうか。子育てを経験している職員も多く、清水先生も、育児休暇から復帰した後に、たまご組の担任になりました。」



「0歳児の成長の早さには驚かされます」とほほを緩める清水先生

「自分の子育て経験が活かせていると感じています。保護者と一緒に子どもたちの成長を見守りたいですね。子どもが安全で楽しく一日を過ごせるように、職員で力を合わせていきます」。

## こんにちは 赤ちゃん訪問

☎ 健康課 ☎55-2111

自宅で  
ゆっくり  
相談したい



金子明香里ちゃん(左)の体重計測を見守る母の由美子さん(右)

「6.120㌔、すごく良いペースで体重が増えていますね」と話す助産師に、「良かった、安心しました」と笑顔で答える金子由美子さん。3カ月になる娘の明香里ちゃんと「こんにちは赤ちゃん訪問」を受けました。

生後4カ月までの赤ちゃんがいる家庭に、市の助産師や保健師、看護師が訪れ、体重測定をしたり、成長の様子を聞いたりする赤ちゃん訪問。明香里ちゃんが第1子の由美子さんは初めて受けました。

### 小さなこともお気軽に

「病院でも1カ月健診など、先生の話聞く機会がありましたが、時間も限られ焦ってしまいました」と振り返る由美子さん。赤ちゃん訪問では、自宅でゆっくりと時間をかけて、職員が話を聞きます。「訪問してくれることを知り、夫と相談して事前に質問をたくさん書き出したんです」とほほ笑みます。

まだ近くにママ友がない由美子さん。それでも、多くの赤ちゃんを見てきた職員と話ができて、安心感を持てたと言います。「自宅近くの保育所で開いている教室の情報なども教えてもらいました。これから出掛けて行くのを楽しみにしています」と明香里ちゃんを抱きしめます。

子どもを遊ばせて相談も聞いてほしい

## 子育て支援は母親支援

子育て支援センター  
南豊田381 ☎34-9076

60畳ほどもある室内で、子どもたちが滑り台やおもちゃで、のびのびと遊びます。子育て支援センターは、未就学児と保護者が、遊びながらくつろげる場所です。

毎日40組ほどの親子が訪れる同センターでは、保育士や幼稚園教諭の資格を持つスタッフが親子を迎えます。「この場所で知り合って、仲良くなり、一緒に公園などに出掛けるようになる人も多いですよ」と笑顔で話す、猪鼻朋子チーフアドバイザー。「日中に過ごす場所として利用してくれる人が多いですね。公園に行くにはまだ小さすぎても、ここでなら安全に遊ぶことができますから」と室内を見渡します。

### 相談を受け止め母親も安らぐ場所をつくる

「子どもを遊ばせるためだけではなく、お母さんが自分は1人じゃない、と思ってもらえる場所でもあります」と強調する猪鼻さん。同センターには出産したばかりで育児に不安がある人や、引っ越してきたばかりで周囲に知り合いがいない人など、さまざまな理由を持つ母親も集まります。

子どもを遊ばせながら、『そういえば……』と相談が始まることもあります。「話を聞いて、お母さんの頑張り、『それで大丈夫だよ』という一言を掛けてあげるようにしています。その一言を、お母さんは待っているんです」。

スタッフが心掛けているのは、お母さんの様子を見て、大変そうな部分にそっと手を差し伸べること。「教えるのではなく一緒に考えていくようにしています。解決してあげよう、と思うのではなく寄り添う友人でありたいと思っています」と猪鼻さんはほほ笑みます。



年末年始を除く平日の午前10時～午後3時。毎日午前11時30分と午後2時40分には、読み聞かせやふれあい遊びの「ジョイフルタイム」があります。電話での相談もできます。



「ただいま、と言ってもらえるような場所でありたいです」と話す猪鼻さん(左)

# レストランとコンビニもオープン

昨年12月15日に、本館2階で「れすとらん・かふえ アルテール」とコンビニエンスストア「生活彩家 平塚市役所店」の営業が始まりました。営業時間は、年末年始を除く平日で、アルテールが午前11時～午後4時、生活彩家が午前8時～午後6時です。

## 地場産食材を使ったヘルシーメニュー

レストランの店名「アルテール」とは、フランス語で「ひこ星」を意味し、名前からも七夕のまち・平塚を感じられます。ガラス張りの店内には、屋外のテラス席を含め187の座席があり、明るく広々とした空間で食事を楽しめます。



メニューは、平塚産の野菜を使った「ひらベジカレー(450円・上写真)」など地場産の食材を使った料理のほか、定食や丼もの、麺類などの定番料理までさまざま。お米は全て平塚産です。カロリーを抑えたヘルシー定食などもあり、幅広い層のニーズに応えられる品ぞろえになっています。ドリンクメニューも充実しており、休憩などにも気軽に利用できます。店長の久保俊広さんは「市役所に用事がない方にも立ち寄ってもらえるとうれしいですね。メニューの感想や要望なども、気軽に声を掛けてください」と話します。



開放的な雰囲気のレストラン

生活彩家は、食品や飲料、幅広い生活雑貨を取りそろえるほか、公共料金の支払いや、切手・印紙類の購入もできます。各種手続きにお越しの時に、お役立てください。

新庁舎は、「公園のような庁舎」をコンセプトに、多目的スペースやラウンジ、緑豊かな屋外広場などを多く取り、市民が訪れやすい空間づくりをしています。また、豊原分庁舎などに分散していた窓口を集約し、平塚税務署が移転してきたことで、各種手続きも、スムーズにできるようになりました。



光が差し込む1階の吹き抜けスペース

問 庁舎管理課 ☎21-9608

# 新庁舎 グランドオープン

市役所新庁舎は、平成29年12月28日に2期工事を終え、全体完成を迎えました。分散していた窓口を集約したことで、市民にとって、利用しやすい市役所に生まれ変わりました。

スペースなども設け、誰でも気軽に訪れられる、利用者に優しい庁舎になっています。

# 伊豆市市民ツアー 文学歴史ウォーク

土肥金山での坑道巡りや砂金掘り体験、恋人岬(写真)の散策など、土肥方面を巡るコースです。

1月27日(土)午前7時～午後6時30分。平塚駅北口NTTビル(明石町1-30)前に集合・解散。40人(先着順・20人に満たない場合は中止)。5,580円。

公民館などにある申込書を、郵送・ファクスまたは直接、1月4日(木)午前10時から、近畿日本ツーリスト湘南支店(観光庁長官登録旅行業第1944号・宮の前1-13) ☎23-2811 ②22-0895へ。



## 募

## 集

応募方法は 下段

### 学校給食の物資納入業者

平成30年度に、学校給食用の食材料を納入する業者の申請を受け付けます。平成29年度に登録済みの業者は申請不要です。

1月5日(金)～12日(金)の平日に、本館7階の学校給食課 ☎35-8119 で配る申請紙を、直接、15日(月)～19日(金)に、同課へ。

### 市長と語ろう！ほっとミーティング

①子育て②高齢福祉③安心安全の三つをテーマに、市長と直接対話しませんか。

2月21日(水)午後7時～9時。旭南公民館(山下1096-1)。旭南地区に在住。

### 在勤・在学の方15人(抽選) 傍聴を希望する方は、会場に直接お越しください。

必要事項 ①③から希望するテーマを、電話・メールで、1月26日(金)までに、市民情報・相談課 ☎21-8764 (f.joujou@)へ。

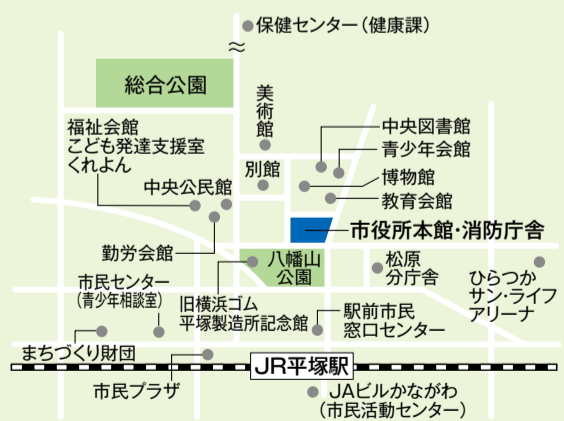
### 応急手当普及員の講習会

救命法を指導するために必要な技能と知識を学びます。受講後に筆記・実技試験があります。勤労会館。先着順。

講習会 1月31日(水)～2月2日(金)、全3回、午前9時～午後5時。普通救命講習修了証を持つ、市内在住・在勤の方30人。4,937円。再講習会 1月30日(火)午前9時～正午。応急手当普及員

## 応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、1月9日(火)午前8時30分から受け付けます。
- メールの応募の場合(f.joujou@以下)にcity.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください。



記入例	
往復はがき	郵送・ファクス・メール
住所 氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	返信

### イクボスを知ろう

部下や従業員が、仕事と私生活を両立できる環境を生み出せる上司になるための講演会などをします。

1月19日(金)午後2時～4時30分。教育会館。市内在住・在勤・在学の方80人(先着順)。6カ月児以上の未就学児の保育もあります。

必要事項(保育を希望する方は子どもの名前・年齢・性別)を、電話・ファクス・メールで、保育を希望する方は1月12日(金)までに、人権・男

### 市民アカデミー

テーマは「3・11を忘れない」さまざま支援のカタチです。

2月2日(金)・9日(金)・14日(水)・16日(金)・19日(月)、全5回、午後1時30分～3時(2日は午前10時～11時30分・19日は午後1時30分～2時30分)。中央公民館。中学生以上の方40人(抽選、市内在住・初めての方を優先)。

必要事項・年齢・参加経験の有無を、はがきまたは直接、1月19日(金)までに、

女共同参画課 ☎21-9861

②21-9756 (f.danjo@)へ。

ファクス・メールの場合は件名を「イクボス申し込み」に。

市ウェブからも応募できます。